

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く(116)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(116)—

#### 1. 始めに

前報(115)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

試聴システムは仮想アースに加えて、スピーカーアキュライザーSPA-7 が加わっています。さらにスピーカーアキュライザーの接続をバナナプラグに置き換え、電解コンデンサーを追加し、電磁波吸収テープ NRF-005T をバナナプラグに巻いています。音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回は声楽曲です。

**PHILIPS 6780 001**

モーツアルト 戴冠式ミサ曲

**Missa Brevis**

他宗教曲 9 曲

ウイーン少年合唱団

**Ferdinand Grossmann 指揮 Vienna Cathedral Orchestra**

#### 3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

PHILIPS 盤ということで、RIAA、正相、第 4 時定数 High で聴いてきました。

ソプラノとアルトのソリストおよび合唱のソプラノとアルトのパートをウイーン少年合唱団が務めています。

ソプラノとアルトのソリストは、大人の女性の声とは違った澄んだ声で歌唱の技量も十分で、テノールやバスとも十分にわたり合っています。

戴冠式ミサ曲と **Missa Brevis** はお馴染みの曲ですが、それ以外は馴染みのない小曲で、美しいハーモニーに心が鎮まるような表情の曲もあります。

#### 4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレック、Crystal E、スピーカーアキュライザーなどの総合的な効果により、ボーイソプラノやアルトの声など、上記の盤の

特徴がよく把握できます。

以上/